

ヘリコプター利用プランご提案書



機体毎の特徴

	<u>EC120</u>	<u>EC130</u>	<u>A109E</u>
乗 客	4	6	7
巡 航 速 度	200km	220km	280km
搭載可能ゴルフバック数	バゲージに4個	バゲージに2個 機内に2個の計4個	バゲージに4～6個 重量と大きさにより異なる
冷暖房	有	有	有
その他の特徴	・大きなバゲージ	・広い機内 ・振動防止付で揺れが少	・世界最速 ・より安全性の高い 2個エンジン

EC120



乗客 4 名様・操縦士 1 名・冷暖房完備・ゴルフバック 4 個搭載・巡航 2 0 0 k m/h

EC130



乗客 6 名様・操縦士 1 名 冷暖房完備・ゴルフバック 4 個搭載・巡航 220 km/h

A109E



乗客 7 名様・操縦士 1 名 冷暖房完備・ゴルフバック 6 個搭載・巡航 280 km/h

プランの種類と費用一覧

120プラン・130プラン・ダブルプラン・アグスタプランの4種類

税別 単位：万円	EC120 (120プラン)	EC130 (130プラン)	EC120&EC130 (ダブルプラン)	A109E (アグスタプラン)
購入費 (初回のみ)	200	300	400	600
月額維持費	4.6	5	9.6	9
契約期間	1年～ (自動更新)	1年～ (自動更新)	1年～ (自動更新)	1年～ (自動更新)
利用費用/時間	3	5	左記参照	9
操縦士/時間	3	3		4
待機費用/時間	0, 4	0, 4		0, 4
その他	登記無 サブリース契約のみ	登記無 サブリース契約のみ	登記無 サブリース契約のみ	登記有 サブリース契約も有

費用詳細説明 (V O L . 1)

(購入費)

- ・初回のみご負担となり、ご返金は致しておりません。但し、利用者の利益を損なう事案（約束不履行があった場合）は1年で20%の低減にてご返金致します。またアグスタプランの場合は所有権を売却できます。
- ・事故があった場合は、補償金にて他の機体を購入致しますので購入金のご返金はありません。

(月額維持費)

- ・機体の維持に必要な「格納費」「保険費」「耐空検査費」「定期点検」「メンテナンス積立費」を所有者（賃借人者）で割合負担して頂く費用です。
- ・月額維持費及び利用代金は代金回収会社と契約を頂き、スムーズな支払いをお勧めしております。（収納会社：株式会社Pay Agent）
- ・お支払いがない場合、利用ができなくなります。

(契約期間)

- ・1年契約となり、2年目からは更新手数料無しにて自動更新となります。また、1年未満の途中解約はできません。

(利用費用・操縦士費用・待機費用)

- ・利用費用には、「燃料」「利用時間によって実施される点検の割合負担分」が含まれます。
- ・操縦士費用には、時間当たりの操縦士費用となります。（フライトしている時間に対する費用となり、待機の時間は含まれません。）別途契約締結
- ・待機費用には、出先などで待機が発生した場合の時間当たりの費用となります。待機がない場合は待機費用は発生しません。

費用詳細説明 (VOL.2)

(その他)

- ・ A 1 0 9 E のみ共同所有とサブリースの両方で取り組むことができます。サブリースの場合は他の機体と考え方は同様となります。
共同（持分）所有としてご購入の場合は、1～3年は10%・3～5年は20%の低減で売却致します。
（例；600万でご購入し、2年後10%低減の540万で売却となり、2年償却の機体なので600万円の損金計上が可能となります。）
- ・ 自己で所有した権利を、サブリースできます。つまり、所有した権利をサブリースし、リース料を享受できます。所有者はその間償却を取ることができます。

(償却期間)

- ・ 共同（持分）所有の場合は期首から1年、期中から2年となります。
- ・ サブリースの場合は、契約期間に応じて定額にて「諸会費」の項目で経費として計上できます。

特記事項

1, 購入時には下記の契約締結をお願いしております。

- ①購入売買契約（株式会社エアクラフトセールズ＆リース）；購入契約
- ②代金支払委託契約（株式会社Pay Agent）；維持費や実際の利用代金の支払い
- ③業務委託契約（操縦士個人契約もしくは株式会社トランスベンチャー）；操縦士契約

その他

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ・利用者間とのグループラインの参加 | ；利用者としての機体の管理状況の相互確認 |
| ・スケジュールカレンダーへの参加 | ；利用状況の相互確認 |

2, 実際の利用時には毎フライトごと「運航主体確認書」へのクラウドサインをお願いしております。

目的；自家用運航における利用者の意識統一を図る